

東京日々新聞

五百六十六号

東海道と往來せし大
 教院の定宿ある一新講
 社の判取帳を求めて
 其表札ある店に休泊すべしと
 評判の高きも理あり此社中へ客を
 饗すと學の酌婦媚妓の煩ひあり
 遺失し物何ぞの百里の遠きを送致する
 懸篤言語をさるる若く不精なる
 社員のいひ忽ち社中を除くを
 此等い遠路貸井取本多留
 平ある若く周旋尽力ある

本号留平

萬斎

轉々堂録

④
 まづも他は突起人講元の方と定めて自分名取
 専らとせざるを性質とする謙遜辭讓本多
 義名此諸社に願て諸國を横すべ
 旅客大の便利を得

轉々堂錄